

令和7年度 サッカー 部の指導方針等と実績について

1 指導体制

顧問氏名		外部指導員氏名	資格等や経験
主顧問	相馬 恭弘		
副顧問	伊藤 柊人		
副顧問	松島 毅		
副顧問			

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像	「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標	総体予選、選手権予選、新人戦において、都大会進出を目標とする。
(3) 地域貢献等の特色ある目標	地域交流を積極的に図るため、必要に応じて中学生と合同練習、練習ゲームを行う。

3 指導方針

(1) 技術や技能, 体力の向上	練習は、原則週に4日間とし、練習時間は、平日2時間、休日2時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間で集中して行う。
(2) 公式戦や発表会への積極的な参加	試合ができることに感謝し、地区の代表として都大会に出場する学校にふさわしい行動を試合以外のところでも取っていく。
(3) 他校との合同練習、練習試合、校外活動の設定	月に1～2回程度、競技力を高めるため練習試合を行う。
(4) 部加入率の維持、増加	全員に役割を与え、その役割において自分が部にどのように貢献できるかを自分で考えさせる。全員が部になくってはならない存在であることに気が付かせ、最後まで継続させる。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導	科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
(2) 生徒間の暴力禁止	運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
(3) 外部指導員の	なし。

活用	
(4)事故防止・安全配慮	生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

	月	内 容
1 学 期	4	生徒会部活動紹介
	5	総体支部予選
	6	練習試合
	7	練習試合
	8	選手権1次予選
2 学 期	9	選手権1次予選
	10	練習試合
	11	新人戦地区予選
	12	練習試合
3 学 期	1	練習試合、地区選抜大会への参加（1年生）
	2	練習試合、地区選抜大会への参加（1年生）
	3	練習試合、地区選抜大会への参加（1年生）

6 活動日・活動場所

曜日	月	火	水	木	金	土	日
活動場所	校庭		校庭		校庭	校庭	

7 公式戦・大会等の実績

令和3年度東京都高等学校総合体育大会中支部予選	2回戦進出
令和4年度東京都高等学校総合体育大会中支部予選	2回戦進出
令和4年度全国高校サッカー選手権大会東京大会1次予選	2回戦進出
令和5年度全国高校サッカー選手権大会東京大会1次予選	出場
令和6年度新人戦地区予選	3回戦進出